

2024年3月期決算発表 補足資料

2024年4月26日
日本ガイシ株式会社

[セグメント間売上消去後]

□ は2023/10公表値

	2023年3月期 通期 実績		2024年3月期 通期 実績		前期比	2024年3月期 ※(セグメント変更後)通期 実績		2025年3月期 通期 見通し		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比	見通し	構成比		
売上高合計	5,592	100%	5,750	5,789	100%	+4%	5,789	100%	6,200	100%	+7%
<海外売上高合計>	<4,297>	77%	<4,463>	<4,463>	77%	+4%	<4,463>	77%	<4,800>	77%	+8%
営業利益 (率)	668 (12%)		620 (11%)	664 (11%)		△1%	664 (11%)		750 (12%)		+13%
エンバイロメント事業 ("EN事業")	3,208	57%	3,510	3,619	63%	+13%	3,907	67%	3,940	64%	+1%
営業利益 (率)	507 (16%)		600 (18%)	636 (18%)		+25%	646 (17%)		680 (17%)		+5%
デジタルソサエティ事業 ("DS事業")	1,632	29%	1,400	1,382	24%	△15%	1,382	24%	1,590	26%	+15%
営業利益 (率)	176 (11%)		20 (2%)	23 (2%)		△87%	23 (2%)		60 (4%)		+163%
エネルギー&インダストリー事業 ("E&I事業")	753	13%	840	788	14%	+5%	500	9%	670	11%	+34%
営業利益 (率)	△15 (-)		0	5 (1%)			△5 (-)		10 (1%)		

2024年3月期 実績 … 売上高は為替円安効果により過去最高も、営業利益は微減

① 事業別業績概況(売上高・営業利益)

【EN事業】

・自動車関連

… 増収・増益

半導体等の部品供給不足の緩和を背景とした自動車生産の回復や、排ガス規制の強化による需要増に加えて、為替の円安もあり増収。利益は、インフレによるコスト増も、需要増や為替円安のプラスで増益。

【DS事業】※

・HPC

… 減収・大幅減益

半導体市場の悪化を受けた半導体メーカーによる製造装置投資の抑制により需要低迷が継続し、減収・減益。スマホ販売の低迷やデータセンター投資の縮小を背景に需要が減少し、減収・減益。

【E&I事業】

・エネルギー

・ガイシ

・産業プロセス

… 増収・黒字化

海外案件を中心に引き合いは活況も、案件の出荷時期ずれにより減収・減益。米国の送配電網増強計画の需要に加え、販売価格の改定により、増収・増益。LiB正極材向け焼成炉の出荷時期ずれや電子部品向け耐火物の需要減により、売上高は前期並みも減益。

② 為替影響

売上高+212億円、営業利益+54億円
(前期135円→当期144円/USD、141円→157円/EUR)

③ 特別損失

需要減により収益が落ち込んだパッケージ事業等で減損損失70億円を計上。

※ HPC…半導体製造装置用製品

2025年3月期 見通し … DS事業の下期需要回復により増収・増益

① 事業別業績概況(売上高・営業利益)

【EN事業】

・自動車関連

・産業プロセス

… 増収・増益

需要は概ね前期並み。利益は、コストダウンにより増益見通し。LiB正極材向け焼成炉の出荷時期が前期からずれ込んだこと等により増収も、利益は前期並み。

【DS事業】

・HPC

… 増収・増益

半導体需給バランスが改善し、デバイスメーカーの設備投資が下期より緩やかに回復する見通しで増収・増益。緩やかな市況の回復を見込み、売上高は前期比増収。利益は、生産能力を増強する絶縁放熱基板事業の立ち上げ費用を見込む。

【E&I事業】

・エネルギー

・ガイシ

… 増収・増益

海外案件の出荷により増収も、部材調達コストの上昇等により赤字は継続する見通し。堅調な米国需要の継続に加えて、その他国内外の需要増もあり、増収・増益。

② 為替影響

・前期比

売上高 +2億円、営業利益 +24億円
(前期144円→当期145円/USD、157円→155円/EUR)

・年間1円当たりの影響

USD(売上高14億円、営業利益5.6億円)
EUR(売上高 7億円、営業利益0.9億円)

③ 事業セグメントの変更

… 産業プロセスをE&I事業からEN事業に移管。自動車排ガス浄化用セラミックスにより培った触媒担体やフィルターの製造技術とエンジニアリングを手掛ける産業プロセスをEN事業に集約し、カーボンニュートラルやバイオ領域の技術開発を加速させてシナジー効果の拡大による事業転換と利益成長を目指す。

④ 配当予想

中間30円、期末30円の年間60円を予定。

	売上高比	前期比	売上高比	前期比		
経常利益	659	12%	580	630	11%	△4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	550	10%	390	406	7%	△26%
ROE	9.0%		6.1%			
1株当たり純利益	177.47円		133.65円			
配当金(配当性向)	66円(37.2%)		50円(37.4%)			

	売上高比	前期比
710	11%	+13%
530	9%	+31%
7.5%		
177.90円		
60円(33.7%)		

為替レート(円/USD)

135

144

145

為替レート(円/EUR)

141

157

155

設備投資	437	8%	473	8%	+8%
減価償却費	537	10%	568	10%	+6%
研究開発費	262	5%	316	5%	+21%

680	11%	+44%
570	9%	+0%
310	5%	△2%

※2025年3月期の期首より事業セグメントを変更しています。
この変更に伴い2024年3月期の経営成績についても同様のセグメント区分に組み替えて表示しています。
産業プロセスをエネルギー&インダストリー事業("E&I事業")からエンバイロメント事業("EN事業")に移管しています。

〔セグメント間売上消去後〕

	2023年3月期 第2四半期累計		2024年3月期 第2四半期累計		2024年3月期 ※セグメント変更後 第2四半期累計		2025年3月期 第2四半期累計		前年 同期比
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	見通し	構成比	
売上高合計	億円 2,747	100%	億円 2,829	100%	億円 2,829	100%	億円 2,950	100%	+4%
<海外売上高合計>	<2,110>	77%	<2,205>	78%	<2,205>	78%	<2,300>	78%	+4%
営業利益 (率)	388 (14%)		325 (11%)		325 (11%)		300 (10%)		△8%
エンバイロメント事業 ("EN事業")	1,531	56%	1,798	64%	1,933	68%	1,950	66%	+1%
営業利益 (率)	262 (17%)		322 (18%)		323 (17%)		315 (16%)		△2%
デジタルソサエティ事業 ("DS事業")	882	32%	661	23%	661	23%	730	25%	+11%
営業利益 (率)	137 (16%)		7 (1%)		7 (1%)		0 (0%)		-
エネルギー&インダストリー事業 ("E&I事業")	334	12%	370	13%	235	8%	270	9%	+15%
営業利益 (率)	△11 (-)		△5 (-)		△5 (-)		△15 (-)		-

	売上高比		売上高比		売上高比		前年 同期比	
経常利益	345	13%	289	10%	280	9%	280	△3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	265	10%	182	6%	210	7%	210	+16%
為替レート(円/USD)	133		141		145		145	
為替レート(円/EUR)	139		154		155		155	
設備投資	199	7%	234	8%	330	11%	330	+41%
減価償却費	265	10%	278	10%	280	9%	280	+1%
研究開発費	119	4%	145	5%	150	5%	150	+3%

※2025年3月期の期首より事業セグメントを変更しています。

この変更に伴い2024年3月期第2四半期累計機関の経営成績についても同様のセグメント区分に組み替えて表示しています。
産業プロセスをエネルギー&インダストリー事業("E&I事業")からエンバイロメント事業("EN事業")に移管しています。